

令和5年度 第2回社会教育委員会議摘録

開催日時：令和5年12月14日（木） 午後1時30分～午後3時

開催場所：精華町立図書館 1階集会室

出席委員：

高鍋房美委員長、村上栄副委員長、白畑丈子委員、米澤正展委員、尾崎万佐子委員、吉田一雄委員、丸山琴羽委員

出席事務局職員：

教育長 川村智、教育部長 浦本佳行、生涯学習課長 田原孝一、生涯学習課主幹 西置雄一、生涯学習指導員 畑中悟、安倉敏代

傍聴者：無し

1 内容

- (1) 令和5年度山城地方社会教育委員連絡協議会研修会について
- (2) 令和5年度の事業報告について
- (3) 今後の予定について

2 その他

開会

○田原生涯学習課長

皆さん、こんにちは。定刻になりましたので、ただいまから令和5年度第2回精華町社会教育委員会議を開会させていただきます。

本日は年末でご多用のところ、ご出席をいただきまして、ありがとうございます。

まず、開会にあたりまして、高鍋委員長様からご挨拶をお願いいたします。

○高鍋房美委員長

皆さん、こんにちは。この時期ですので、今年1年振り返ってのことになると思うんですけども、すごい衝撃的な事件とか物事も多かったですし、それとまた、やっぱりワクワクすることも結構多かったです。スポーツ界のWBCから始まり、去年のサッカーもありました。

その中で私が思ったのが、自分の経験をすごく持ちながら今の時代、今の人をしっかり見据えて、若い人を伸び伸びと育てていく、若い人の夢をかなえていくという姿勢がすごいすばらしいなと思いました。

○田原生涯学習課長

ありがとうございました。

続きまして、教育委員会の川村教育長よりご挨拶を申し上げます。

○川村教育長

皆さん、こんにちは。今日はありがとうございます。今年度2回目の社会教育委員の会議ということで、ご挨拶申し上げます。

10月には町長選挙がありまして、杉浦正省町長再任ということで、それから1か月半ほどがたちました。公約の中には教育行政をめぐって大きなものがありました。幾つかの公約がありましたが、町長と連携しながら教育委員会としてはそれぞれの実現に向けて頑張っていきたいというふうに思っております。

それと、幾つか生涯学習、社会学習の分野でこれから動きが出てくる部分について、ご報告をさせていただこうと思っております。1点目は、打越台の環境センターの跡地とあそこのグラウンドをセットにした防災受援施設。災害時に精華町に支援物資が届けられた時に、支援の取組の基地となる施設です。

それから、もう一つは、中学校の部活動を地域に移行しようということで、本町では、10月から吹奏楽部について、地域の音楽活動をされている方が中心となった楽団がつけられました。こういった取組が実証事業として今、行われるようになりまして、これがスポーツ系に関しても今後展開していこうということで進めたい

なというふうに思っています。

これが2つ目です。

あと、文化財保存活用地域計画作成の委員会が来週開催されます。それぞれの市町村ごとに文化財の保存と活用のための計画を定めていくということで、精華町でもやろうということで、とりあえず文化財所有者の連絡協議会というのを先般立ち上げました。精華町の文化財の保存と、それから保護、修理とか防災に取り組むこととなります。

以上、その3点のご報告をもって、ご挨拶と代えさせていただきます。

○田原生涯学習課長

ありがとうございました。

それでは、川村教育長につきましては公務のため、ここで退席をさせていただきますと思います。

それでは、続けさせていただきます。大きく言うと3つになると思うんです。

まず、1つが1月12日に宇治田原町の総合文化センターで開催されます山城地方社会教育委員連絡協議会の研修会がございますが、その中で分科会が行われます。その分科会の課題提案を各市町が当番で回されているんですけども、今回、精華町が当たっていますので、分科会の段取りについて委員の皆様にご報告をさせていただくというのが、まず1番目で上げさせていただきます。

あと、2番目、3番目としましては、令和5年度にこれまでに教育委員会で行ってきました、主に社会教育事業の関係ですけれども、その報告を事務局からさせていただくということと、それから3つ目は、あとこれから本年度、12月、1月、2月、3月の間に予定されている事業などにつきまして、これも事務局から報告をさせていただくということで、この2つ目と3つ目については時間の許す限りでさせていただこうかなと思っているのですが、まず1番目のこの来月の研修会に向けて、今日は協議いただけたらなというふうに考えておりますので、よろしくお願いいたします。

本日も審議会等の会議の公開に関する指針に基づきまして、この会議につきましては公開とさせていただきます。希望者の傍聴も許可をしているところです。

また、本日の会議の議事録を公開することとしておりますので、ご理解をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

それでは、これからの議事進行につきましては、精華町社会教育委員会議運営規則第4条によりまして、委員長は会議の議長となり会議を運営するということにな

っておりますので、以下、議事進行につきまして高鍋委員長、よろしく願いいたします。

○高鍋房美委員長

それでは、会議を進めさせていただきます。

まず、(1) 令和5年度山城地方社会教育委員連絡協議会研修会について、議論いただきたいと思います。

なお、テーマにつきましては、先般、私と村上副委員長及び事務局で打合せを行いまして、地域とつながる社会教育委員の活動としました。当日の課題提起の発表者として、村上副委員長をお願いしたいと思います。

それでは、この件について村上副委員長からも発言をお願いします。

○田原生涯学習課長

1番目の資料がこの研修会の概要の資料になっていまして、それからもう一つ、このパワーポイントのスライドの資料のコピー、この2つをお使いいただけたらというふうに思います。

○高鍋房美委員長

ここから皆さんのご意見がたくさん入ればありがたいと思います。

先生、お願いします。

○村上栄副委員長

失礼いたします。

課題提起ということで、地域学校協働活動というのが社会教育の中でもいろんな研修会でメインテーマになって研修等も行われておりますので、その活動について、本町の皆様の日頃の取組を集約して、それを簡単に発表できればなということで考えました。

それから、今、新しい視点での取組の必要性ということで書きましたけれども、地域協働活動、コミュニティ・スクールと協働本部、その両論ということで地域を活性化していこうと。学校も地域で支援をしていこうと、そういう動きがありますので、それを簡単に列記してみました。そこで、昔から言われているんですけども、社会総がかりの協働ということで、学校、また学校の保護者、地域の3者が協働していこうと。

その下が、そしたら地域支援できる体制づくりということで、今、精華町でも去年、全学校に学校運営協議会を立ち上げております。学校支援とする地域、保護者の集結を図っているところです。その学校運営協議会で地域活動等への支援とか、

反対に学校から生徒児童による地域支援の取組というのも必要性を言われております。そのサポートができればなど。それには学校長を筆頭に先生方の理解と協働が不可欠だなどというのが、体制づくりをする上での1つのキーかなということで上げさせていただきました。

あとは、今後の継続発展に向けた持続的、自立的な組織体制づくりと運営の確立に向けてコミュニティ協議会の会議がありますので、そこで意見を述べたり提案をしたりさせてもらっています。

○高鍋房美委員長

こんな感じというので、私から始めたほうがいいんですか。

○村上栄副委員長

そうですね。

○高鍋房美委員長

私は社会教育委員以外としては、食育劇団もぐもぐさん、いちごちゃん、いちごくんとかをかぶって幼稚園や保育所で食育のお話、寸劇とかペープサートというのもやっています。

中心的な活動としては、子育て支援のほうでお母さんたちが何か講演会を聴いたりとかお勉強している間の託児のお手伝いさせていただいています。

もう一つは、日曜日に池谷のテニスコートでソフトテニスに行っています。初めは大人だけだったんですけども、中学生が時々来るようになって、今度は大人についてくる小さな子どもさんがいるようになって、その子どもたちもしたいというところから子どもだけの時間をつくってするようになりました。

○白畑丈子委員

私はスクールヘルパー、こちらでつくられたので、それをどうしたらいいかということで、大分、もう10何年前できた時に、自分で南稲の点滅の信号のところで初め1人で立ったんですけども、皆さん、お孫さんが行っているからっておばあちゃんたちがついてきてくださって、今もずっとそれが歴代つないでその見守りをさせてもらっています。

○米澤正展委員

学校はしてもらっているばかりなんで、本来的にこの地域学校協働本部であったり、学校運営協議会というのは、こちらからも何らかのことをすべきなんですけれども、少なくとも川西小学校はほとんどできていないのが現状なんです。

○高鍋房美委員長

ありがとうございました。尾崎先生は。

○尾崎万佐子委員

今、米澤校長先生がおっしゃった、子どもの顔を見ているだけで幸せになるという、子どもの笑顔をやっぱりいっぱいにする、そういうまち、精華町にしていく。そのためには、実際、地域で何ができるだろうかという社会教育委員として実際に自分はどの組織に属していただければいいのかなと思っています。

○高鍋房美委員長

ありがとうございました。

吉田さん、どうですか。

○吉田一雄委員

私、一度も見に行っただけではないんですけども、東の児童館では子ども食堂を開催されているというように聞いているんです。自由参加で子どもさんも親御さんも来てもらいたいということで、何かそんなことに、私は野菜も何も作っていないもので、何か料理ぐらいはできる自信があるので、一度のぞいてみようかと思ったりしているんです。

○丸山琴羽委員

今、お話があった趣旨を膨大にしゃべることになっちゃってもあれなんですけれども、私が社会教育委員としてやっていることというのは、1つは明るい選挙の推進協会に入らせていただいているので、それ関係で名古屋で大学生、高校生ぐらいと選挙啓発のことを話し合う会みたいなのを生協が企画されているものに参加させていただいて、地域の政治的な関心を広げるのにはどうしたらいいんだろうみたいなことを考えているだけなんですけれども、それを考えることとか、あと自分がやっているのは、大学で福祉国家論とかを勉強しているので、どちらかというところ、地域で自分が活動するというよりは、何か今、地域に何が求められているのか、日本全体でどういうことをしていこうという構想が練られているのかというのを、世界各国のことと比較しながら勉強するというようなことをしています。

○村上栄副委員長

ありがとうございました。今日、今、皆さん、いろんな場面で活動されているのが本当に敬意を表するというか、頼もしいなと。精華町の社会教育委員は、個々の活動がすごいなというように感じました。

○田原生涯学習課長

事務局から。今、お話をいろいろお聞かせいただいて、当日、村上副委員長に課題提起していただくこのパワーポイントをつくっていただいていますので、このスライドにもう少し写真とかデータを添付できればなと思っていますので、また何かそういう写真集めとかは事務局も併せて動いていこうと思っていますので、よろしくお願いいたします。

○西置

はい、座って報告します。令和5年度の事業報告ということで、一括でご説明をさせていただきます。

まず、資料2-1、ここに社会教育委員さんが参加いただいた総会とか研修会の総会を載せています。

まず、山城地方社会教育委員連絡協議会総会ということで、6月9日に八幡市文化センターで総会の議事と研修が行われました。ここには7名の委員さんに参加をいただいています。

次のページに行ってくださいと、次は京都府の社会教育委員連絡協議会を6月30日に綾部市に行っています。こちらは7名の参加をいただいています。これも先ほどと同じく議事と地域と学校の協働を前に進めるためということで、講演が開かれています。

次のページに行ってくださいと、次は近畿地区の社会教育研究大会ということで、9月8日に立命館大学のくさつびわこキャンパスで開催をされています。これは委員さん8名が参加をいただきました。

次のページに行ってくださいと、これはタイトルが長いんですけども、京都府の社会教育の研究大会ということで別途開かれている分です。11月21日に永守重信市民会館で行われました。こちらはちょっと人数が少なかったんですけども4名の方に参加をいただいています。

次に、資料2-2をお出してください。A3の紙で子ども祭りを書いた紙ですね。これは内容としては、ステージの部と体験コーナーの部、この2つに分かれましてそれぞれさせていただきました。ステージの部で目新しいのがサイエンスショー、科学実験のショーとせいか音頭の参加体験ということでさせていただきました。これは約1,000名の方にメインホールにご参加をいただいております。

横に行ってくださいと、体験コーナーの部ということで、これはイベントホールとメインホールの外のホワイエというところでやったんですけども、こちらが子どものおもちゃ修理とか、そういったことがされていて、この体験者数が2,

000名の方で、合計3,000名で子ども祭りが行われました。

次に、2-3につきましてご説明させていただきます。

○田原生涯学習課長

すみません。2-3なんですけれども、資料、京町セイカちゃんの載っている資料ですけれども、京都府地域クラブ活動推進事業と書いたこの資料をご覧ください。

これは先ほど教育長の挨拶にもありました、中学校の部活動の地域移行に関する資料ということになっております。11月11日に教育委員会で、後で説明させていただきますけれども、実証事業の公開地域クラブ活動というのを行いまして、その時に配付させていただいた資料をご覧くださいということになります。

まず、1ページをお開きください。ここには多くの部活動の課題とか、下にはこれから休日の学校部活動の本町における目指すべき方向というのがまとめられています。

中学校の教職員も減少しまして生徒が選択できる中学校の部活動の減少や、部活動の持続可能性が非常に厳しい状況になってきております。今、そこに3つの折れ線グラフが出ておまして、中学校の生徒数が少なくなってきましたよ、教員数が少なくなってきましたよ、それに伴って部活動の数も少なくなってきましたよというグラフが載っています。

また、経験のない教員、学校の先生がそのクラブの顧問に就いたり、休日の部活動の指導などが先生の業務負担にもつながっているとされています。

そのため、子どもたちが将来にわたってスポーツや文化活動に継続して取り組む機会の確保や、教員の働き方改革につながる環境整備を目的としまして、学校の部活動を学校から切り離して地域に移行していこうということが今、国のガイドラインで定められたものでございます。国は、令和5年度から令和7年度までをこの学校部活動の地域移行に向けた推進期間とうたっておりまして、精華町でも原則といたしまして今後、休日の学校部活動を行わずに、学校部活動とは別に子どもたちが地域でスポーツや文化活動を行う地域クラブ活動に参加できるように環境整備を進めていく計画となっております。

次、飛びまして5ページをご覧くださいと思います。精華町では、既に今年10月から中学校の部活動の地域移行の実証事業に取り組んでおります。これは国の文化庁から補助金を受けまして、まず文化部活動であります吹奏楽部を対象としまして、町内で民間でけいはんなユース・ウインド・オーケストラという吹奏楽団が立ち上がったんですけれども、ここに精華町から実証事業の委託を行っておりま

す。

この今の5ページのところなんですけれども、そしたらこのけいはんなユース・ウインド・オーケストラってどういう活動をしているのかということなんです、この楽団の対象としましては、精華町だけではなくて広域的な取組としてこの楽団、動いておられまして、けいはんな地区、精華町、木津川市、京田辺市を中心にそこに在住している、または在学している下は小学生から上は高校生までを受け入れるという形で練習をされています。活動場所については、今のところ、10月からスタートして、京都廣学館高校の吹奏楽部が練習場所として使っている教室を使いながら練習をされています。練習日程につきましては、今のところ、月3回程度で土曜日か日曜日、どちらかで月3回ということで練習されておりまして、1回あたり大体3時間、午前の練習か午後の練習かということでされています。使用する楽器につきましては、子どもたちが個人で持っている楽器を持っていったり、それから在学している中学校とかで楽器を事前にお借りして、京都廣学館高校に持ち運んで練習しているというような状況でございます。

11月時点なんですけれども、このけいはんなユース・ウインド・オーケストラに登録されている子どもの人数というのが116人のうち中学生は38人、さらにそのうち精華町の参加状況といたしまして中学生が21人、これは西中、南中、精華町中学校それぞれから参加されていて今、21人で、小学生のほうは、東光小学生から8人参加されているという状況になっています。

これが以上でございます。

○高鍋房美委員長

ありがとうございました。今のところ何かご意見なんかございましたらお願いします。

部活動の地域移行というのは、本拠というか、その元が学校ではなくなるということですか。

○田原生涯学習課長

実証事業を進める中で、国が考えているのは、この3カ年の推進期間をもって、ここで実証事業も挟みながらということで動かれるので、市町村はそれに合わせて今それぞれ取組を進めているという状況になります。

○高鍋房美委員長

本当に中学校の部活動の目的、どうして部活動できたかという目的から、歴史からずっと考えて、今、本当に必要なのかとか見直す部分も結構出てくると思うんで

す。運動会もそうですよね。昔は本当、9月、10月がよかったけれども、まだまだ熱中症を考える時に練習は危ないから、今日みたいな気温だったらもう12月でもいいぐらいですもんね。

では、次に行きますか。3番の今後の予定について、お願いします。

○西置

資料3-1をお出してください。今後の予定ということで京都府の主催分と町の主催分の2つに分けて書いています。

まず、山城地方の社会教育委員連絡協議会の第3回の理事会が明日、田辺総合庁舎であります。村上副委員長と私が出席をさせていただきます。

次に、さっき議題でありました研修会が宇治田原の総合文化センターで行われます。

3点目ですけれども、令和5年度第3回になりますけれども、子育てサポータースキルアップ講座ということで、これは幅広い団体、保育園も含んでいるんですけれども、幅広い団体に呼びかけさせていただいて行われるものです。

次に、町の主催分としましては、精華町文化財保存活用地域計画第1回作成協議会が12月22日にこの場所です。

最後に、二十歳のつどいということで、来年の1月8日、3連休の最終日になるんですけれども、1時からけいはんなホールで行われます。

あと、ここには書いていないんですけれども、寿大学の3回目が2月にありまして、健康に関する講座が行われ、女性講座も年明けに行われるということをお聞きしています。

○田原生涯学習課長

そしたら、次、3-2の資料をご覧くださいと思います。先ほど町の主催分ということで出ていましたけれども、精華町文化財保存活用地域計画の関係についてご報告をさせていただきたいと思います。用意させていただいた資料は国がつくっている資料ということになります。

まず、この事業ですけれども、精華町でこの文化財保存活用地域計画をつくろうという今、計画がありまして、実は来週12月22日に第1回目の策定協議会を開催させていただくことになっております。

○高鍋房美委員長

ありがとうございます。何か意見とか質問はありますかでしょうか。

すみません。この22日の文化財の保存活用の計画は、社会教育委員としてはど

なたか出られるんですか。

○田原生涯学習課長

すみません。ご紹介はさせていただいたんですけれども、これは実は社会教育委員さんから出ていただくものではないんです。今日お話をしたかったのは、この計画づくりに精華町も着手いたしますということを、社会教育委員さんにご認識いただけたらということで報告をさせていただきました。

○高鍋房美委員長

ありがとうございました。

○田原生涯学習課長

すみません。よろしいでしょうか。

○田原生涯学習課長

それでは、最後に村上副委員長からご挨拶いただきたいと思います。

○村上栄副委員長

今日は長時間、皆様、活躍されている取組の発表等、貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。頑張って12日は発表させていただきたいと思います。

○高鍋房美委員長

お願いします。

○村上副委員長

では、以上で第2回社会教育委員会議を閉会とさせていただきます。本日はお忙しい中、ありがとうございました。

○一同

ありがとうございました。